

電気通信大学 平成17年度シラバス

授業科目名	韓国朝鮮語第一		
英文授業科目名	Elementary Korean I		
開講年度	2005年度	開講年次	1年次
開講学期	1学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	1
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化基礎科目 I I		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	廉 東浩		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ

<b>【主題および達成目標】</b>
韓国語の子音・母音を覚え、韓国語を読めるようになることを目指す。 韓国文化に触れ、韓国語でも挨拶ができるようにする。

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
なし

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>
なし

<b>【教科書等】</b>
一回目の授業で指定する

<b>【授業内容とその進め方】</b>
子音・母音を学習し、韓国語の読み方、辞書の引き方、基本的な挨拶などを学習する。

## 電気通信大学 平成17年度シラバス

### 【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

#### 評価方法：

中間試験・期末試験および演習・宿題の結果を、次のように総合評価する。

成績評価 平常点(出席率など)： 30%

期末試験： 70%

最低評価基準：出席率が70%以上であり、韓国語の構造を理解していることを最低評価基準とする。

### 【オフィスアワー：授業相談】

日時などは事前にメールなどで相談すること。

### 【学生へのメッセージ】

文化開放などで若者同士の交流がより活発になっています。一番近い隣国韓国を知り、韓国を理解する上で一番大切なものは言語だと思えます。

韓国人に会ったら韓国語で挨拶ができるようにしましょう。

受講に当たってもっとも必要なものは、韓国や韓国文化に対する興味と関心、そして「やる気」です。

### 【その他】